SONY

4-529-192-04(1)

プロダクションコントロール ソフトウェア

ユーザーガイド

ソフトウェアバージョン 1.2

PWA-PRC1

© 2013 Sony Corporation

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。
© 2013, 2014Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負い兼ねます。
万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

目次

概要 5
各部の名称と働き 6
操作パネル 6
操作画面 9
サーバーのステータス表示 11
ビューアー 12
ソフトボタンメニュー 16
クリップリスト／プレイリスト一覧 17
モード／セッティング画面切り換えボタン 19
情報表示エリア 19
サブモニター 20
準備 21
レコードトレインの管理 21
アプリケーションの起動と終了 23
基本操作 24
操作モード 24
PGM モード 25
ソフトボタンメニューの項目 26
クリップ管理 27
クリップの選択 27
クリップの基本操作 29
ソフトボタンメニューの項目 32
プレイリスト管理 33
プレイリストモード 33
プレイリストの選択 37
プレイリストの基本操作 38
プレイリスト編集・再生の基本操作 39
ソフトボタンメニューの項目 41
カットアウト編集機能 42
カットアウトモード 42
カットアウトの基本操作 44
設定 46
セッティング画面 46
設定項目 47

付録 52
商標について 52
LGPL 適用ソフトウェアの入手について 52

概要

本書では、プロダクションコントロールソフトウェア PWA-PRC1 と USB コントロールデバイス PWSK-4403 の機能と操作について説明します。

PWA-PRC1 は、マルチポート AV ストレージユニット PWS-4400 を制御して、ライブ映像のスロー再生やクリップ／プレイリスト管理を行うためのソフトウェアです。
PWA-PRC1 がインストールされたコンピューターに PWSK-4403 を USB 接続し、各種ボタンやフェーダーレバー、ジョグダイヤルを使用して操作します。
コンピューター画面に表示される映像を確認しながら、スロー再生の速度コントロール、画像の検索、マーク位置へのキューアップ、カットアウト編集などが可能です。また、作成したクリップを一覧から選択して再生やコピーを行ったり、プレイリストに登録してハイライト編集を行うことができます。

PWA-PRC1 の動作環境、PWS-4400 との接続や設置方法などについては、ソニーの営業担当者またはサービス担当者にお問い合わせください。

本書では、PWS-4400 を以降「サーバー」と表記します。

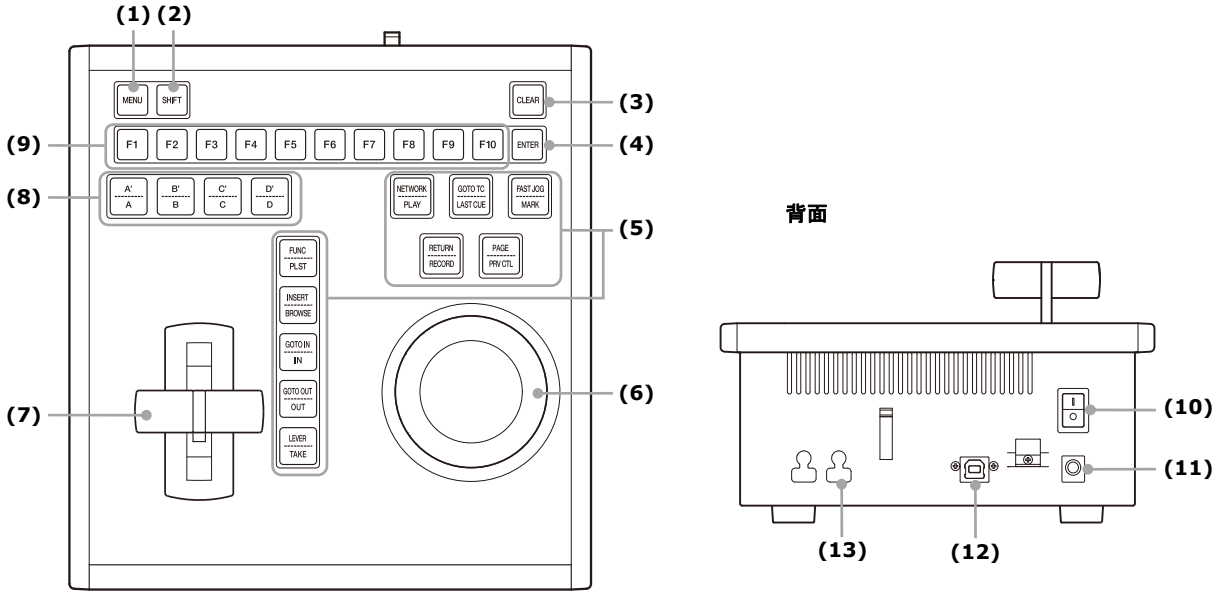
ご注意

PWA-PRC1 は、映像／音声のコントロールを目的としたソフトウェアであり、コンピューター上でのリアルタイムの再生を保証するものではありません。

各部の名称と働き

USB コントロールデバイス PWSK-4403 の操作パネルと、プロダクションコントロールソフトウェア PWA-PRC1 の操作画面について説明します。
PWA-PRC1 をインストールした 1 台のコンピューターに操作パネルを 2 台まで接続できます。

操作パネル



(1) MENU ボタン　ソフトボタンメニューを選択するときに使用します。確認メッセージのキャンセルボタンとしても使用します。

(2) SHIFT ボタン　オペレーションボタンとソフトボタンの上段（シフト側）の機能を選択するときに使用します。

(3) CLEAR ボタン　クリップ／プレイリストやマークの削除に使用します。

(4) ENTER ボタン　設定を有効にするときや確認メッセージで確定するときに使用します。選択中のプレイリストの最後にクリップを登録するときにも使用します。

（5）オペレーションボタン 各ボタンには上段と下段に異なる機能が割り当てられています。
各ボタンを押すと、下段の機能が選択されます。上段の機能を選択する場合は、[SHIFT]ボタンを押してから各ボタンを押します。

ボタン	機能
PLAY	サーチモード中やクリップ選択後に、再生を開始する。
NETWORK	ネットワークコピーモードに切り換える。
LAST CUE	1 つ前のマーク位置にキューアップする。
GOTO TC	タイムコードを入力して、指定した位置にキューアップする。
MARK	記録中レコードトレインのタイムコード位置にマーク（キューアップポイント）を設定する。
FAST JOG	ジョグダイヤルを高速モードに切り換える。高速モードの速度はセッティング画面で設定する。
RECORD	サーチモード中やクリップ再生中に、ライブモードに切り換える。ライブモードに戻ると、設定した IN/OUT ポイントは消去される。
RETURN	レコードトレインの操作中は、ライブモードに切り換える。ライブモードに戻っても、設定した IN/OUT ポイントは保持される。 クリップの操作中は、現在の位置に相当するレコードトレインにキューアップする。直前のレコードトレインに設定していた IN/OUT ポイントがある場合、その値は設定される。
PRV CTL	プレイリスト編集モードで、素材のクリップの操作を有効にする。
PAGE	クリップ／プレイリストのページを選択する。
PLST	プレイリスト編集モード、プレイリストプレイアウトモードに切り換える。
FUNC	（Version 1.2 では使用しません。）
BROWSE	プレイリスト編集モードで、クリップのブラウズ操作を有効にする。
INSERT	選択中のプレイリストにクリップを挿入する。
IN	クリップに IN ポイントを設定する。
GOTO IN	IN ポイントにキューアップする。
OUT	クリップに OUT ポイントを設定する。
GOTO OUT	OUT ポイントにキューアップする。
TAKE	PGM 選択とカメラ選択を切り換える。
LEVER	フェーダーレバーをセカンドモードに切り換える。セカンドモードの速度範囲はセッティング画面で設定する。

(6) ジョグダイヤル サーチモードに切り換わり、回す量に応じて正方向／逆方向にコマ送りします。

(7) フェーダーレバー スロー再生の速度をコントロールします。

(8) ソフトボタン 操作画面に表示されるソフトボタンメニューの項目を選択します。

(9) ファンクションボタン ページ、バンク、クリップ／プレイリストの選択などに使用します。

(10) 電源スイッチ 電源をオン／オフします。

(11) DC IN 端子 PWSK-4403 に付属の AC アダプターを接続します。

(12) USB 端子 USB ケーブルで PWA-PRC1 がインストールされたコンピューターに接続します。

(13) ディップスイッチ 2 台の PWSK-4403 を接続する場合、操作パネルを識別するために使用します。
スイッチの設定については、インストレーションガイドを参照してください。

操作画面

PWA-PRC1 の基本操作画面には、「スプリットモード」と「ビューアーモード」の 2 種類の表示モードがあります。操作画面の[Split]または[Viewer]をクリック／タップして表示モードを切り換えることができます。

スプリットモードの画面

「情報表示エリア」と、クリップ一覧などが表示される「クリップリストエリア」、ビューアーが表示される「ビューアーエリア」から構成されます。

スプリットモードでは、I/O 構成にかかわらず、セッティング画面で「4 アングルモード」または「6 アングルモード」を選択することができます。クリップリストエリアに表示されるカメラアングルや縮小ビューアーの数は、アングルモードの設定により異なります。

ビューアーモードの画面

「情報表示エリア」と、ビューアーが表示される「ビューアーエリア」から構成されます。

ビューアーの数やレイアウトは、I/O 構成により異なります。

サーバーのステータス表示

接続しているサーバーの情報を表示します。

(1) クリップリストに登録されているクリップ数

(2) クリップリストに登録されているクリップの合計時間

(3) サーバーで記録可能な残り時間

残り時間が少なくなると、以下の色で警告表示します。

緑：残り時間が 30 分以下

赤：残り時間が 10 分以下

(4) メディアゲートウェイのステータス

(5) [Live]ボタン

記録中のレコードトレインをロードして、ライブモードに切り換えます。

(6) [File]ボタン

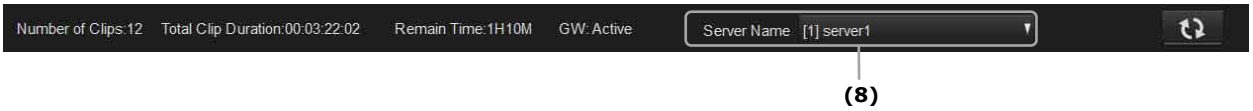
サーバーに記録済みのレコードトレインを選択する画面が表示されます。

(7) クリップ情報の更新ボタン

マウス／タッチパネルでクリック／タップすると、サーバーに登録されているクリップの最新情報がクリップリストに反映されます。

メディアゲートウェイからリトリーブされたクリップやネットワーク上のサーバーから転送されたクリップを表示するためには、更新を行ってください。

ネットワークコピーモード時の表示



(8) Server Name 選択ボックス

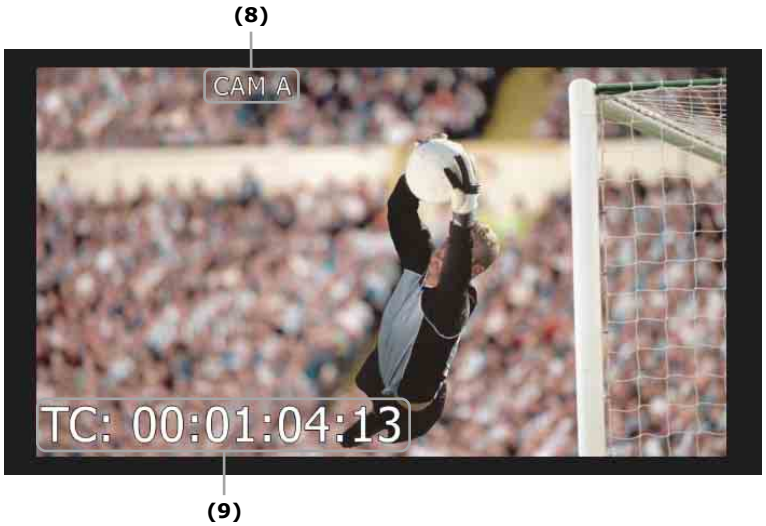
マウス／タッチパネルでネットワークコピー操作をするとき、操作対象のネットワークサーバーを選択します。

ビューアー

サーバーへの入力画像またはサーバーからの出力画像を表示します。

ビューアー(出力)

ビューアー(入力)



ビューアー（出力）

(1) キューアップポイントのマーク番号（キューアップの操作時に表示）

(2) PGM 出力に割り当てられた入力名

(3) PGM 出力の制御状態

制御されている場合は「FULL CTRL」、制御されていない場合は「NO CTRL」と表示されます。

(4) クリップ名（クリップのロード時に表示）

(5) 速度状態

(6) デュレーションまたはカウントダウン

設定や操作の状況により、以下の情報が表示されます。

レコードトレインの操作中で IN/OUT ポイントが設定されていないとき：レコードトレインのデュレーション

レコードトレインに設定されている IN/OUT ポイントの間をサーチしているとき：デュレーション

上記以外のとき：IN ポイントまたは OUT ポイントまでのカウントダウン

(7) タイムコード

ビューアー（入力）

(8) 入力名

(9) タイムコード

タイムコードの表示形式

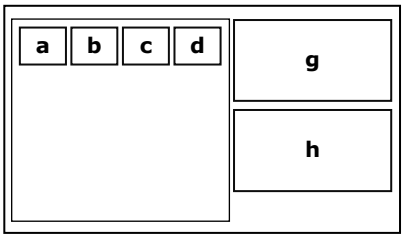
タイムコードは、「hh:mm:ss;ff」（時：分：秒；フレーム）または「hh:mm:ss:ff」（時：分：秒：フレーム）の形式で表示されます。

サーバーで DF（ドロップフレーム）モードに設定している場合はフレーム表示の前がセミコロン（;）に、NDF（ノンドロップフレーム）モードに設定している場合はフレーム表示の前がコロン（:）になります。

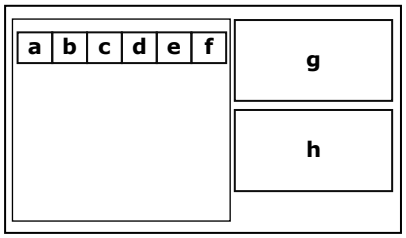
各ビューアーに表示される対象は以下のようになります。

スプリットモード

4 アングルモード



6 アングルモード



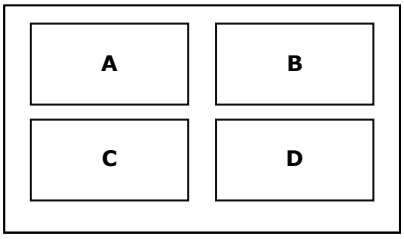
ビューアー	2PGM モード		1PGM モード		
	2 in+2 out	4 in+2 out	3 in+1 out	2 in+1 out (HFR HD300i/ HD360i/HD300P/ HD360P/4K100P/ 4K120P)	6 in+1 out
a	入力 1	入力 1	入力 1	入力 1 (HFR HD/4K)	入力 1
b	入力 2	入力 2	入力 2	(未使用)	入力 2
c	(未使用)	入力 3	入力 3	入力 3(HD/4K)	入力 3
d	(未使用)	入力 4	(未使用)	(未使用)	入力 4
e	(未使用)	(未使用)	(未使用)	(未使用)	入力 5
f	(未使用)	(未使用)	(未使用)	(未使用)	入力 6
g	出力 1	出力 1	選択中の入力 (1～3)	選択中の入力 (1 または 3)	選択中の入力 (1～6)
h	出力 2	出力 2	出力 1	出力 1(HD/4K)	出力 1

ご注意

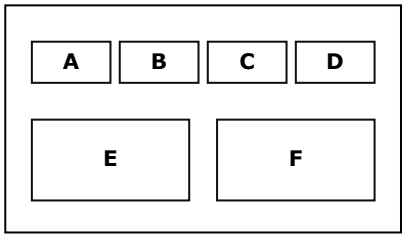
プレイリストモードでは、ビューアー「g」、「h」はプレイリスト編集用の表示エリアになります(34 ページ)。

ビューアーモード

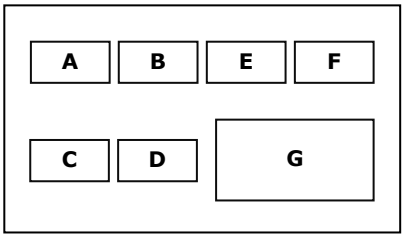
2 in+2 out / 3 in+1 out / 2 in+1 out



4 in+2 out



6 in+1 out



ビューアー	2PGM モード		1PGM モード		
	2 in+2 out	4 in+2 out	3 in+1 out	2 in+1 out (HFR HD300i/ HD360i/HD300P/ HD360P/4K100P/ 4K120P)	6 in+1 out
A	入力 1	入力 1	入力 1	入力 1 (HFR HD/4K)	入力 1
B	入力 2	入力 2	入力 3	入力 3(HD/4K)	入力 2
C	出力 1	入力 3	入力 2	(未使用)	入力 3
D	出力 2	入力 4	出力 1	出力 1(HD/4K)	入力 4
E	—	出力 1	—	—	入力 5
F	—	出力 2	—	—	入力 6
G	—	—	—	—	出力 1

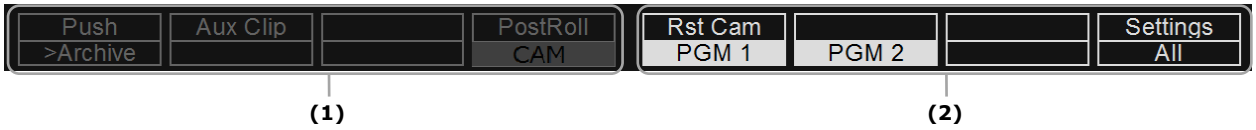
ソフトボタンメニュー

PWSK-4403 のソフトボタンに割り当てられた機能を表示します。操作中のモードや設定により、表示される項目は異なります。

ソフトボタンメニューは、第 1 メニューと第 2 メニューに分かれています。

スプリットモード

ビューアーモード



(1) 第 2 メニュー

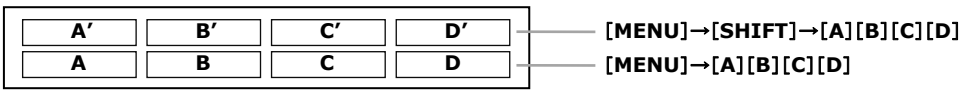
主に機能の選択や設定の変更などに使用します。

(2) 第 1 メニュー

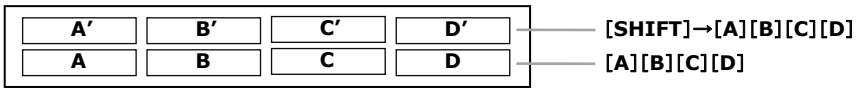
主に PGM 出力やカメラの選択、セッティング画面の表示などに使用します。

ソフトボタンメニューの操作方法

第 2 メニュー



第 1 メニュー



第 2 メニューを選択する場合は、[MENU]ボタンを押します。[MENU]ボタンが赤で点滅し、第 2 メニューの項目を選択できるようになります。

第 1 メニューに戻る場合は、もう一度[MENU]ボタンを押して消灯させます。

選択中のメニューはハイライト表示されます。

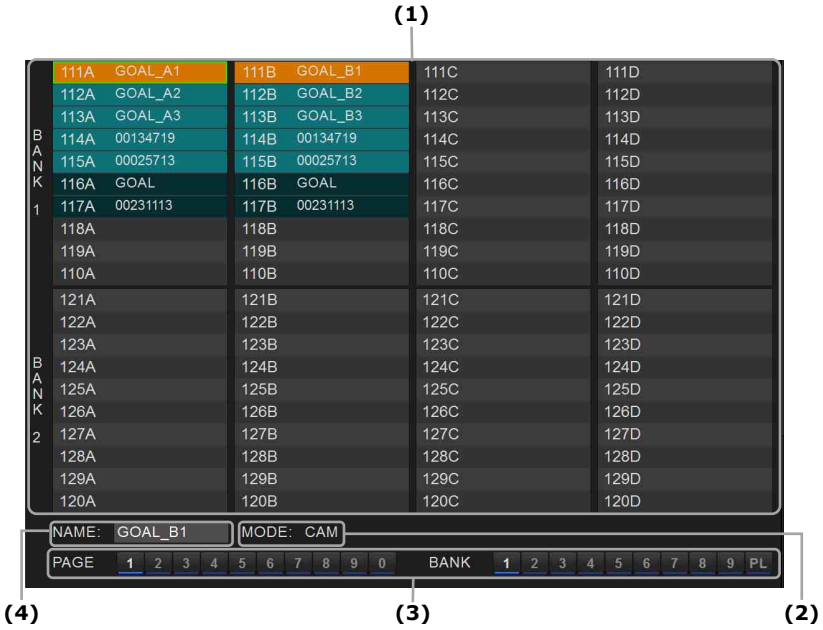
第 1 メニュー、第 2 メニューの下段の項目（A/B/C/D）は、対応するソフトボタン[A][B][C][D]を押して選択します。

上段の項目（A′/B′/C′/D′）は、[SHIFT]ボタンを押してから、対応するソフトボタン[A][B][C][D]を押して選択します。

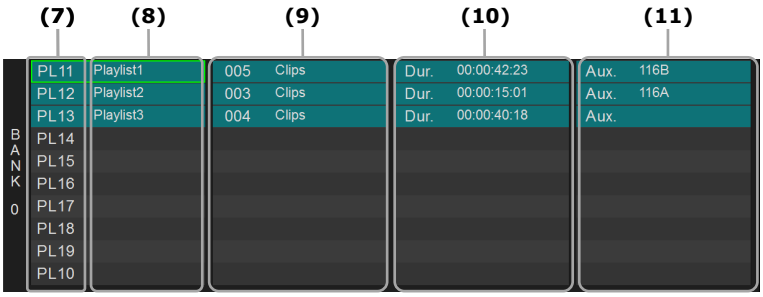
クリップリスト／プレイリスト一覧

バンクごとにクリップの一覧を表示します。バンク 10（PL）はプレイリストの管理に使用します。

クリップリストに表示されるカメラアングルの数は、アングルモードの設定により異なります。



プレイリスト一覧（バンク 10（PL））



(1) クリップ情報の一覧

各バンクに登録されているクリップの一覧を確認できます。

上段には選択したバンクが表示されます。下段はモードによって表示内容が異なります。

(2) モード

クリップ操作のモード（CLIP または CAM）が表示されます。

(3) ページ／バンク切り換えボタン

現在選択中のページ番号、バンク番号がハイライト表示されます。

マウス／タッチパネルで操作するときに、各ボタンをクリック／タップしてページ／バンクを切り換えます。

ページ番号とバンク番号は、ビューアーモードの操作画面の下部にも表示されます。

(4) NAME 欄

キーボードで入力したクリップ ID やクリップ名／プレイリスト名が表示されます。クリップを呼び出すときやクリップ／プレイリストに名前を付けるときに使用します。

(5) クリップ ID

クリップを特定するための識別名で、「ページ番号＋バンク番号＋クリップ番号＋カメラアングル」で構成されています。

例えば、「123A」はページ 1、バンク 2、クリップ 3、カメラアングル A のクリップを示します。アーカイブ指定されているときやアーカイブの実行中は、クリップ ID の背景が緑になり、クリップ ID の下にプログレスバーが表示されます。

(6) クリップ名

クリップに名前を付けている場合に表示されます。

ネットワークコピーが指定されているときやネットワークコピーの実行中は、クリップ名の下にプログレスバーが表示されます。

(7) プレイリスト ID

プレイリストを特定するための識別名で、「PL＋ページ番号＋プレイリスト番号」で構成されます。

例えば、「PL12」はページ 1、プレイリスト番号 2 のプレイリストを示します。

クリップがアーカイブ指定されているときやアーカイブの実行中は、プレイリスト ID の背景が緑になり、プレイリスト ID の下にプログレスバーが表示されます。

(8) プレイリスト名

プレイリストに名前を付けている場合に表示されます。

(9) プレイリスト内のクリップ数

(10) プレイリスト内のクリップの合計時間

(11) オーディオクリップ情報

オーディオクリップがプレイリストに設定されているときに、オーディオクリップのクリップ ID が表示されます。

クリップ情報の表示色

クリップが保存されている場合は、クリップ情報の背景が青で表示されます。

クリップを選択してロードすると、クリップ情報の背景がオレンジに変わります。

クリップが記録中のビデオフォーマットと異なる場合は、クリップ情報の背景がダークグリーンで表示されます。

アーカイブが完了したクリップ／プレイリストのクリップ ID／プレイリスト ID の背景は緑で表示されます。

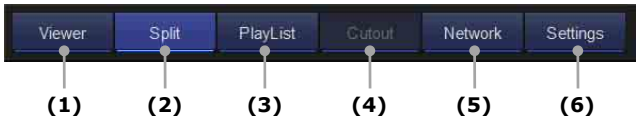
アーカイブに失敗したクリップ／プレイリストのクリップ ID／プレイリスト ID の背景は赤で表示されます。

ご注意

- 背景がダークグリーンのクリップはロードできません。
- アーカイブが完了したクリップ／プレイリストのクリップ ID／プレイリスト ID の背景は、PWA-PRC1 を再起動すると青に戻ります。

モード／セッティング画面切り換えボタン

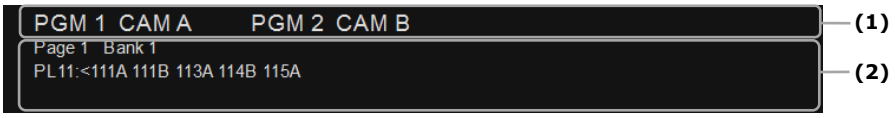
マウス／タッチパネルで操作するときに、各ボタンをクリック／タップして操作モードおよびセッティング画面の切り換えを行います。



(1) ビューアーモード切り換えボタン
(2) スプリットモード切り換えボタン
(3) プレイリストモード切り換えボタン
(4) カットアウトモード切り換えボタン
(5) ネットワークコピーモード切り換えボタン
(6) セッティング画面切り換えボタン

情報表示エリア

PGM 出力の情報を表示します。また、操作に応じて必要な情報やメッセージなども表示します。

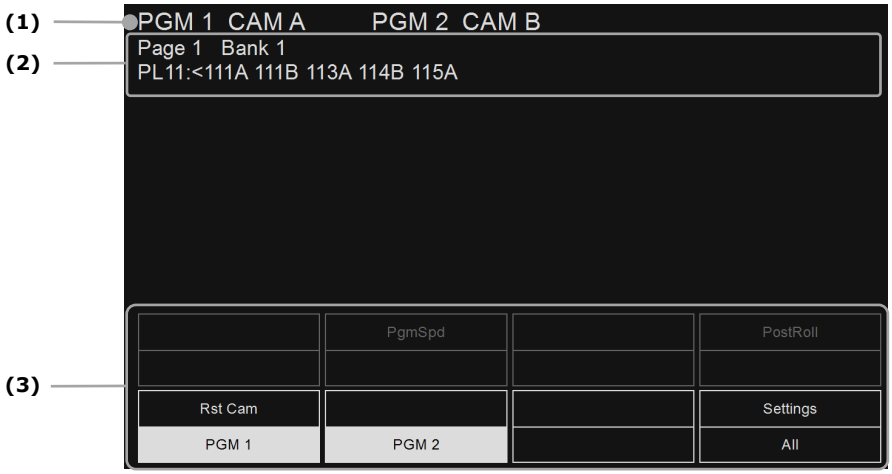


(1) PGM 出力への入力の割り当て状況、ロード中のクリップ ID または操作中のモード
プレイリストモードでは、操作中のモードとプレイリスト ID が表示されます。

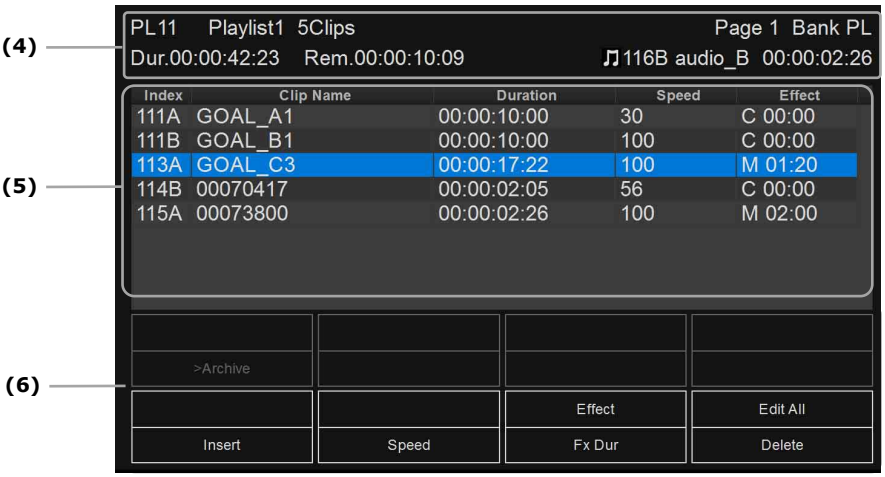
(2) 情報およびメッセージの表示
操作中のページ番号、バンク番号、プレイリスト ID、プレイリストに登録されているクリップ ID などの情報やメッセージが表示されます。

サブモニター

操作パネルごとに設定や制御の状況などを表示するためにサブモニターを使用することができます。



プレイリストモード時



(1) PGM 出力への入力の割り当て状況、ロード中のクリップ ID または操作中のモード

プレイリストモードでは、操作中のモードとプレイリスト ID が表示されます。

(2) 情報およびメッセージの表示

操作中のページ番号、バンク番号、プレイリスト ID などの情報やメッセージが表示されます。

例えば、プレイリストモードに切り換えると、操作中のプレイリスト情報と登録されているクリップ一覧が表示されます。

(3) ソフトボタンメニュー

プレイリストモード時

(4) プレイリスト情報

操作中のプレイリスト情報が表示されます。

(5) プレイリスト登録クリップ情報

操作中のプレイリストに登録されているクリップの情報が表示されます。

選択中のクリップの背景は青で表示されます。

(6) ソフトボタンメニュー

準備

レコードトレインの管理

PWA-PRC1 を起動すると、サーバー上に記録用のファイルが作成されます。このファイルを「レコードトレイン」と呼びます。
レコードトレインは入力チャンネルごとに作成され、自動的に名前が付けられます。
PWA-PRC1 を終了するときに、レコードトレインの記録を終了して全ポートをクローズするか、または記録を継続するかを選択するメッセージが表示されます。

レコードトレインには、「通常記録モード」と「ループ記録モード」の 2 種類の記録モードがあり、サーバーの Web メニューで設定します。記録モードは、サーバーのすべての入力ポートに対して同じモードに設定してください。また、PWA-PRC1 のセッティング画面の[Loop REC]もサーバーと同じ記録モードに設定してください。
サーバーの記録モードと[Loop REC]の設定が異なると、PWA-PRC1 の起動時にエラーメッセージが表示され、レコードトレインの記録は開始されません。

通常記録モード

レコードトレインの記録は 5 時間 55 分を超えると自動的に停止します。停止すると[RECORD]ボタンは消灯します。

ループ記録モード

サーバーで設定したレコードトレインの容量に達すると、先頭に戻って記録を続けます。クリップを登録すると、その領域は上書きされないため、空き容量が減少します。
24 時間に達するか、レコードトレインの空き容量がなくなるまで記録を継続します。

サーバーでの記録可能な残り時間が少なくなると、警告が表示されます。
警告表示については、「サーバーのステータス表示」(11 ページ)を参照してください。
空き容量を確保するには、サーバーの Web メニューから FS Format を実行して、サーバーの内容を空にしてください。
FS Format を実行すると、作成したクリップもすべて削除されます。必要なレコードトレインやクリップは、別のメディアなどに保存してください。

サーバーの Web メニューの操作や設定については、PWS-4400 のオペレーションマニュアルを参照してください。

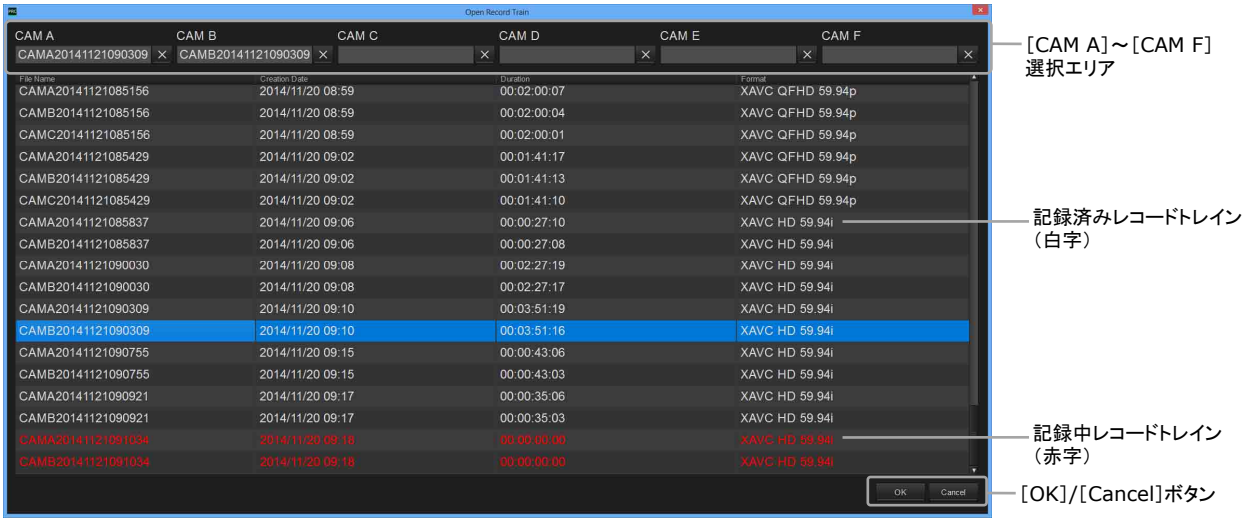
ご注意

- レコードトレインはメディアゲートウェイから削除することができます。削除を行う前に PWA-PRC1 を終了し、レコードトレインの記録の終了と全ポートのクローズを行ってください。ポートをクローズするには、終了時のポート閉鎖確認メッセージで[OK]ボタンをクリック／タップします。

- FS Format 実行後も、プレイリスト設定情報とカットアウトデータは削除されません。FS Format 後に、セッティング画面の[Clear all playlist/cutout data]で[Clear]ボタンをクリック／タップしてプレイリスト設定情報とカットアウトデータを削除してください。
- ループ記録モードでリトリーブ運用を行う場合は、サーバーの「Remain Area」を確保してループ記録領域を設定してください。
- ループ記録モードでは、空き容量が 5 分未満となった場合、クリップの保存ができなくなります。
- 記録中にサーバーの電源が落ちた場合など、レコードトレインが正しく終了されなかったときはサーバーでファイルの修復が必要です。

サーバーに記録済みのレコードトレインにアクセスするには

スプリットモードまたはビューアーモードの操作画面で[File]ボタンをクリック／タップすると、サーバーに記録済み、および記録中のレコードトレインの設定ダイアログが表示されます。



操作画面の[File]ボタン→記録済みレコードトレインの選択→[CAM A]～[CAM F]選択エリアにドラッグ &ドロップ→[OK]ボタン

- 選択エリアに設定したレコードトレインをクリアするには、エリア内の[×]ボタンをクリック／タップします。
- 記録済みのレコードトレインを選択し、[OK]ボタンをクリック／タップした直後、すべての PGM に選択したレコードトレインがロードされ、レコードトレインの最後にキューアップされます。記録中のレコードトレインを選択した場合、操作モードはライブモードになります。
- 記録済みのレコードトレインがアクティブのときに[RECORD]ボタンを押すと、選択したレコードトレインの最後にキューアップされます。
- ライブモードに戻るには、操作画面の[Live]をクリック／タップします。

ご注意

- 記録中のビデオフォーマットと異なるレコードトレインはアクティブなレコードトレインに設定できません。
- 操作パネルとメインディスプレイの連携設定がオフの場合は、アクティブなレコードトレインの変更はできません。
  操作パネルとメインディスプレイの連携設定については、「設定」(46 ページ)を参照してください。

アプリケーションの起動と終了

起動

1. PWA-PRC1 をインストールしたコンピューター、PWSK-4403、PWS-4400 の電源を入れる。
PWSK-4403 のファンクションボタン[F1]～[F10]と[ENTER]ボタンが青で点灯します。

2. スタート画面の「PWA-PRC1」をクリック／タップするか、またはデスクトップ上の「PWA-PRC1」アイコンをダブルクリック／ダブルタップする。
PWA-PRC1 が起動します。
セッティング画面に登録された情報により、自動的に PWS-4400 に接続します。

PWA-PRC1 を初めて起動する場合または PWS-4400 に接続できなかった場合

IP アドレスの入力画面が表示されます。接続する PWS-4400 の IP アドレスを入力し、[OK]をクリック／タップしてください。

PWS-4400 との接続が完了すると PWA-PRC1 の操作画面に情報が反映され、レコードトレインの記録を開始します。
PWSK-4403 のファンクションボタン[F1]～[F10]には、クリップの登録状況が反映されます（クリップが登録されている場合は緑で点灯、登録されていない場合は消灯）。

ご注意

- PWA-PRC1 の初期設定では、ループ記録モードが無効に設定されています。サーバーの設定がループ記録モードの場合は、PWA-PRC1 の起動後にセッティング画面で[Loop REC]を有効に設定してください。
- 画面のテキストサイズは変更しないでください。

終了

1. PWSK-4403 の[SHIFT]ボタンを押してからソフトボタン[D]（Settings）を押す。
セッティング画面が表示されます。
キーボードの Shift + F2 キーを押してセッティング画面を表示することもできます。

2. [SHIFT]ボタンを押してからソフトボタン[A]（Exit App）を押す。
確認メッセージが表示されます。
レコードトレインの記録を終了して全ポートをクローズする場合は[OK]ボタン、記録を継続する場合は[Cancel]ボタンをクリック／タップします。
マウス／タッチパネルでアプリケーションウィンドウ右上の「 ☒ 」ボタンをクリック／タップして、PWA-PRC1 を終了することもできます。

基本操作

操作モード

PWA-PRC1 では、3 つの基本となる操作モードがあります。

ライブモード

[RECORD]ボタンを押すと、ライブモードに切り換わります。
レコードトレインに記録中の画像を、同時に再生します。

サーチモード

ジョグダイヤルを動作させると、サーチモードに切り換わります。
ジョグダイヤルを回転させて前方向／後方向に検索しながら、目的のタイムコード位置や画像に移動します。

再生モード

フェーダーレバーを動作させるか、または[PLAY]ボタンを押すと、再生モードに切り換わります。
特定のタイムコード位置から再生を開始したり、ロードしたクリップを再生します。フェーダーレバーでは、再生速度をコントロールできます。

PGM モード

サーバーの I/O 構成により、PGM モードが自動的に設定されます。

2PGM モード

I/O 構成が 2 in＋2 out または 4 in＋2 out の場合、2PGM モードに設定されます。
2PGM モードでは、ソフトボタンメニューで制御対象の PGM 出力を[PGM 1]または[PGM 2]から選択します。
両方を同時に制御するときは、[All]を選択します。
初期設定では、[PGM 1]に[CAM A]、[PGM 2]に[CAM B]が割り当てられています。
[TAKE]ボタンを押すと、ソフトボタンメニューがカメラ選択の表示に切り換わり、カメラの割り当てを変更することができます。
このモードでは、PWSK-4403 を 2 台接続することができます。
Panel1 と識別された操作パネルを PGM1 出力の制御、Panel2 と識別された操作パネルを PGM2 出力の制御に使用します。
操作パネルの識別については、「設定」（46 ページ）を参照してください。

1PGM モード

I/O 構成が 3 in＋1 out、6 in＋1 out、2 in＋1 out（HFR HD300i/HD360i/HD300P/HD360P/4K100P/4K120P）の場合、1PGM モードに設定されます。
1PGM モードでは、ソフトボタンメニューで PGM 出力に割り当てるカメラを選択します。

カメラ選択の操作

[CAM A]～[CAM D]を割り当てる場合は、ソフトボタンメニューの[CAM A]、[CAM B]、[CAM C]、[CAM D]（3 in＋1 out／6in＋1 out の場合は[CAM A]、[CAM B]、[CAM C]、2 in＋2 out の場合は[CAM A]と[CAM B]、2 in＋1 out（HFR HD300i/HD360i/HD300P/HD360P/4K100P/4K120P）の場合は[CAM A]と[CAM C]）から目的のカメラを選択します。
6 in＋1 out のときに[CAM D]～[CAM F]を割り当てる場合は、ソフトボタン[D]（--->）を押します。ソフトボタンメニューが[CAM D]、[CAM E]、[CAM F]の表示に切り換わり、目的のカメラを選択することができます。
ソフトボタン[D]（<---）を押すと、[CAM A]、[CAM B]、[CAM C]の表示に戻ります。

ソフトボタンメニューの項目

モードや設定などにより、表示される項目は異なります。

第 1 メニュー

項目	内容
PGM x	（2PGM モードのみ） [PGM x]を制御対象に選択する。
CAM x	[CAM x]を PGM 出力に割り当てる。
---> / <---	--->：[CAM D]、[CAM E]、[CAM F]の選択表示に切り換える。 <---：[CAM A]、[CAM B]、[CAM C]の選択表示に戻る。
All	（2PGM モードのみ） 両方の PGM 出力を制御対象にする。
Rst Cam	PGM 出力へのカメラの割り当てを初期設定に戻す。
Settings	セッティング画面を表示する。

第 2 メニュー

項目	内容
PgmSpd / VarMax	PgmSpd：0%以外は、フェーダーレバーの位置にかかわらず設定値の速度で再生する。 VarMax：フェーダーレバーの位置に対応して、0%～設定値までの速度で再生する。 OFF：フェーダーレバーの位置に対応して、0%～100%の速度で再生する。 • 設定値はセッティング画面で設定します。 • [PLAY]ボタンの場合、[PgmSpd]または[VarMax]を選択すると、設定値の速度で再生します。
PostRoll	OFF：OUT ポイントに達したあと、再生を停止する。 ON：OUT ポイントに達したあと、設定した時間再生を続けてから停止する。 • 設定時間はセッティング画面で設定します。

クリップ管理

クリップは、ページ番号、バンク番号、クリップ番号で管理されます。
サーバー上には、ページが 10（1～10）、各ページにクリップ用のバンクが 9（1～9）あります。各バンクは 10 のクリップから成り、クリップごとに A～D または A～F のカメラアングルを保存できます。

クリップの選択

ページ番号、バンク番号、クリップ番号の順に指定して、クリップを選択します。

ページ番号の選択

[PAGE]ボタン（[SHIFT]ボタン→[PRV CTL]ボタン）→ファンクションボタン[F1]～[F10]（1～10 のページ番号に対応）

バンク番号の選択

[SHIFT]ボタン→ファンクションボタン[F1]～[F9]（1～9 のバンク番号に対応）

クリップ番号の選択

ファンクションボタン[F1]～[F10]（1～10 のクリップ番号に対応）
同じ[F1]～[F10]ボタンを複数回押して、カメラアングルを切り換えることができます。

キーボードでのクリップ操作

クリップの選択は、キーボードで操作することもできます。

ページの選択: Alt キー+左右キー

バンクの選択: Alt キー+上下キー

クリップの選択: CLIP モードの場合は、上下キーで対象のクリップにカーソルを移動
CAM モードの場合は、上下左右キーで対象のクリップ／カメラアングルにカーソルを移動

また、キーボードでは以下の設定が可能です。

モードの選択: キーボード操作では、F2 キーで CLIP モード／CAM モードを切り換えることができます。
CLIP モードの場合はクリップのすべてのカメラアングルが操作や設定の対象となり、CAM モードの場合は選択したカメラアングルのみが対象となります。

クリップ名の設定: クリップに任意の名前を付けることができます（英数字 12 文字まで）。クリップを選択して NAME 欄に名前を入力し、F1 キーを押して確定します。
Shift + F1 キーを押すと、カーソルが NAME 欄に移動します。

マウス／タッチパネルでのクリップ操作

クリップの選択は、マウス／タッチパネルで操作することもできます。

ページの選択: クリップリストエリア下部のページボタンでページ番号をクリック／タップ

バンクの選択: クリップリストエリア下部のバンクボタンでバンク番号をクリック／タップ

クリップの選択: CLIP モードの場合は、クリップリスト表示で対象のクリップをクリック／タップ
CAM モードの場合は、クリップリスト表示で対象のクリップのカメラアングルをクリック／タップ

クリップの基本操作

クリップの作成・保存

[IN]ボタン(IN ポイントを設定)→[OUT]ボタン(OUT ポイントを設定)→空のクリップ番号を選択

- クリップの保存には、10 フレーム以上のデュレーションが必要です。
- IN ポイント前と OUT ポイント後に、それぞれ 5 秒のガードバンドが付加されてクリップが保存されます。

クリップのロード

ページ番号を選択→バンク番号を選択→クリップ番号を選択

- クリップがロードされると選択したファンクションボタン[F1]～[F10]が赤で点灯し、IN ポイントにキューアップします。再生を開始するときは、[PLAY]ボタンを押します。
- 選択したファンクションボタン[F1]～[F10]を複数回押して、カメラアングルを切り換えることができます。
- 指定したタイムコードの位置にキューアップすることができます。

  [GOTO TC]ボタン([SHIFT]ボタン→[LAST CUE]ボタン)を押すと、情報表示エリアにタイムコードの入力欄が表示されます。ファンクションボタン[F1]～[F10](1～0 の数字に対応)またはキーボードで、タイムコード「hh:mm:ss:ff」(時:分:秒:フレーム)を入力します。

  先頭から 8 桁すべてを入力すると、自動的に指定したタイムコードにキューアップします。先頭から 1～7 桁のみを入力して確定する場合は、[ENTER]ボタンを押してください。

  例:

  8 桁すべて(時:分:秒:フレーム)を指定　「11223344」を入力→ 11:22:33:44 にキューアップ

  先頭の 4 桁のみ(時:分)を指定　「1122」を入力→[ENTER]ボタン→ 11:22:00:00 にキューアップ
- キーボード操作の場合は、クリップを選択して Enter キーを押します。再生を開始するときは、Alt + P キーを押します。NAME 欄にクリップ ID を入力し、F3 キーを押して呼び出すこともできます。クリップ ID の入力は、カメラアングルまで指定します。また、複数の PGM 出力が制御対象となっている場合には、同じカメラアングルのクリップが呼び出されます。
- マウス／タッチパネル操作の場合は、クリップをダブルクリック／ダブルタップまたはクリップをビューアーにドラッグ &ドロップします。

クリップの削除

ページ番号を選択→バンク番号を選択→[CLEAR]ボタン→クリップ番号を選択→
確認メッセージで[ENTER]ボタン

- 削除を中止する場合は、確認メッセージで[MENU]ボタンを押します。
- 選択したクリップのすべてのカメラアングルが削除されます。
- クリップのロード中やプレイリストモードのときは、クリップの削除はできません。
- クリップを削除しても、レコードトレインの記録データは削除されません。
- キーボード操作の場合は、クリップを選択して Ctrl + Delete キーを押し、確認メッセージで Enter キー(中止する場合は Esc キー)を押します。

クリップのコピー

コピーするクリップを選択→空のクリップ番号を選択→確認メッセージでソフトボタン[A]（Copy）→[ENTER]ボタン

- コピーを中止する場合は、確認メッセージで[MENU]ボタンを押します。
- 確認メッセージでソフトボタン[D]（CLIP または CAM）を押して、CLIP モードまたは CAM モードを選択できます。CLIP モードではすべてのカメラアングル、CAM モードではロード中のカメラアングルのみをコピーします。
- キーボード操作の場合は、コピーするクリップを選択して Ctrl + C キーを押し、空のクリップ番号を選択して Ctrl + V キーを押します。
- マウス／タッチパネル操作の場合は、コピーするクリップを選択し、空のクリップ番号にドラッグ &ドロップします。

クリップの移動

移動するクリップを選択→空のクリップ番号を選択→確認メッセージでソフトボタン[B]（Move）→[ENTER]ボタン

- 移動を中止する場合は、確認メッセージで[MENU]ボタンを押します。
- 確認メッセージでソフトボタン[D]（CLIP または CAM）を押して、CLIP モードまたは CAM モードを選択できます。CLIP モードではすべてのカメラアングル、CAM モードではロード中のカメラアングルのみを移動します。
- キーボード操作の場合は、移動するクリップを選択して Ctrl + X キーを押し、空のクリップ番号を選択して Ctrl + V キーを押します。
- マウス／タッチパネル操作の場合は、移動するクリップを選択し、Shift キーを押しながら空のクリップ番号にドラッグ &ドロップします。

クリップのアーカイブ

メディアゲートウェイと連携してクリップを保管します。

クリップを選択→[MENU]ボタン→ソフトボタン[A]（>Archive）

- ソフトボタンメニューで[CLIP]を選択している場合はすべてのカメラアングル、[CAM]を選択している場合はロード中のカメラアングルのみをアーカイブします。
- アーカイブ指定されているときやアーカイブの実行中は、クリップリストのクリップ ID 部分の背景が緑になり、クリップ ID の下にプログレスバーが表示されます。
- キーボード操作の場合は、クリップを選択して Alt + Z キーを押します。

ご注意

- 次の場合、セッティング画面の[Media Gateway]の[Set]ボタンをクリック／タップしてドライブ情報を再取得してください。
  - PWA-PRC1 操作中にメディアゲートウェイを再起動した
  - アーカイブ先のドライブの接続に変更があった
  - メディアを入れ換えた
  - Server transfer IP の変更および削除を行った
- アーカイブが完了したクリップのクリップ ID の背景は、PWA-PRC1 を再起動すると青に戻ります。

ネットワークコピー

操作対象のサーバー（ローカルサーバー）とネットワークに接続している別のサーバーとの間でクリップのコピーを行うことができます。ネットワークコピーでは、ガードバンドを含むクリップ全体がコピーされます。また IN ポイントと OUT ポイントの設定も保持されます。

ネットワーク上のサーバー情報は、あらかじめセッティング画面の［Network 4K server (s)］で設定しておく必要があります。サーバー情報の設定については、「設定」（46 ページ）を参照してください。

サーバー間のクリップコピー

［NETWORK］ボタン（［SHIFT］ボタン→［PLAY］ボタン）→ソフトボタン［A］または［B］→ファンクションボタン［F1］～［F10］でネットワーク上のサーバーを選択→コピーするクリップを選択→空のクリップ番号を選択→確認メッセージで［ENTER］ボタン

- ソフトボタン［A］または［B］でローカルサーバーとネットワークサーバー間のコピー方向を切り換えることができます。
  ソフトボタン［A］（Local→Network）：ローカルサーバーからネットワーク上のサーバーへコピー
  ソフトボタン［B］（Network→Local）：ネットワーク上のサーバーからローカルサーバーへコピー
- クリップ選択時に、ページ／バンクを切り換えることができます。
  ［SHIFT］ボタン→［PRV CTRL］ボタン：ページ表示
  ［SHIFT］ボタン→ファンクションボタン［F1］～［F10］：バンク表示
- ひとつ前の操作に戻るには、確認メッセージで［MENU］ボタンを押します。
- 確認メッセージでソフトボタン［D］（CLIP または CAM）を押して、CLIP モードまたは CAM モードを選択できます。
  CLIP モードではすべてのカメラアングル、CAM モードではロード中のカメラアングルのみをコピーします。
- コピーの実行中は、クリップリストのコピー元クリップ名部分の下にプログレスバーが表示されます。
- ネットワークコピーモードを終了するときは、［RECORD］ボタンを押します。

マウス／タッチパネルでのネットワークコピー操作

ネットワークコピーモードの切り換え：　操作画面の［Network］をクリック／タップ
クリップリストエリアの下部がネットワークサーバーのバンク表示に切り換わります。

サーバーの選択：　画面上の Server Name 選択ボックスからネットワークサーバーをクリック／タップで選択

ネットワークコピー実行：　コピーするクリップを選択し、コピー先の空きクリップ番号へドラッグ＆ドロップ

ネットワークコピーモード終了：　操作画面の［Viewer］、［Split］、［Playlist］または［Cutout］をクリック／タップ

プッシュ機能（ネットワーク上のサーバーへのクリップ転送）

指定したネットワーク上のサーバーにクリップを転送（コピー）することができます。

プッシュ機能を使用する場合は、あらかじめセッティング画面で[Push receive page]、[Push machine]、[Push target]を設定しておく必要があります。

コピーするクリップを選択→[MENU]ボタン→[SHIFT]ボタン→ソフトボタン[A]（Push）→確認メッセージで[ENTER]ボタン

- 転送したクリップは受信ページの空きクリップ番号にコピーされます。空きクリップ番号がない場合は、警告メッセージが表示されます。
- コピーの実行中は、クリップリストのコピー元クリップ名部分の下にプログレスバーが表示されます。
- 確認メッセージでソフトボタン[D]（CLIP または CAM）を押して、CLIP モードまたは CAM モードを選択できます。
  CLIP モードではすべてのカメラアングル、CAM モードではロード中のカメラアングルのみをコピーします。

ご注意

- ネットワークコピーおよびプッシュ実行中は、コピーのキャンセルはできません。

ソフトボタンメニューの項目

モードや設定などにより、表示される項目は異なります。

第 1 メニュー

項目	内容
CAM x	カメラアングルを選択する。
Rst Cam	PGM 出力へのカメラの割り当てを初期設定に戻す。
Settings	セッティング画面を表示する。
Copy	クリップのコピーを実行する。
Move	クリップの移動を実行する。
CAM / CLIP	CAM：クリップのコピー／移動時に、選択中のカメラアングルのみを対象にする。 CLIP：クリップのコピー／移動時に、すべてのカメラアングルを対象にする。
Local -> Network / Network -> Local	Local -> Network：サーバー間のコピー方向を Local -> Network にする。 Network -> Local：サーバー間のコピー方向を Network -> Local にする。

第 2 メニュー

項目	内容
Push	プッシュ機能を実行する。
>Archive	クリップをアーカイブする。
Aux Clip	オーディオクリップを登録する。
PostRoll	OFF：OUT ポイントに達したあと、再生を停止する。 ON：OUT ポイントに達したあと、設定した時間再生を続けてから停止する。 • 設定時間はセッティング画面で設定します。
CAM / CLIP	CAM：選択中のカメラアングルのみを設定対象にする。 CLIP：すべてのカメラアングルを設定対象にする。

プレイリスト管理

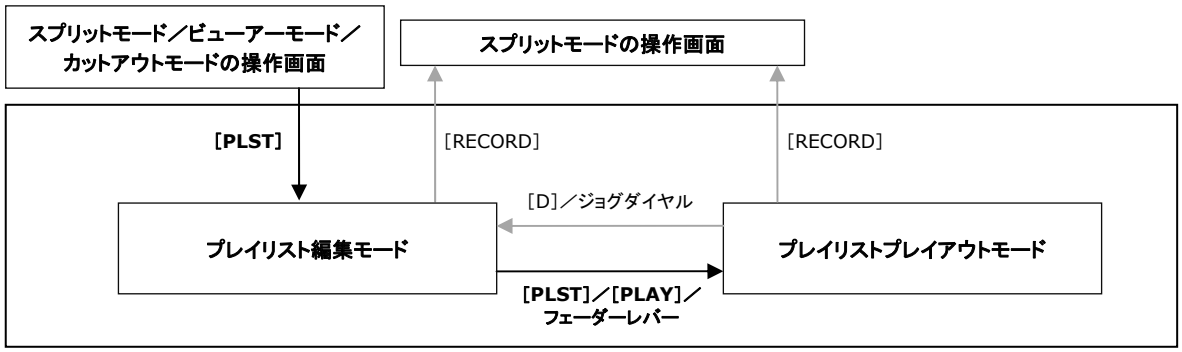
プレイリストは、ページ番号、バンク番号 10（PL）、プレイリスト番号で管理されます。
サーバー上にはページが 10（1～10）あり、各ページのバンク 10（PL）がプレイリストの管理に使用されます。バンクごとに 10 のプレイリストを保存できます。
作成したクリップをプレイリストに登録し、ハイライト編集を行うことができます。

ご注意

サーバーで FS Format を実行したあとは、古いプレイリスト設定情報を削除する必要があります。セッティング画面で[Clear all playlist/cutout data]の[Clear]ボタンをクリック／タップしてください。

プレイリストモード

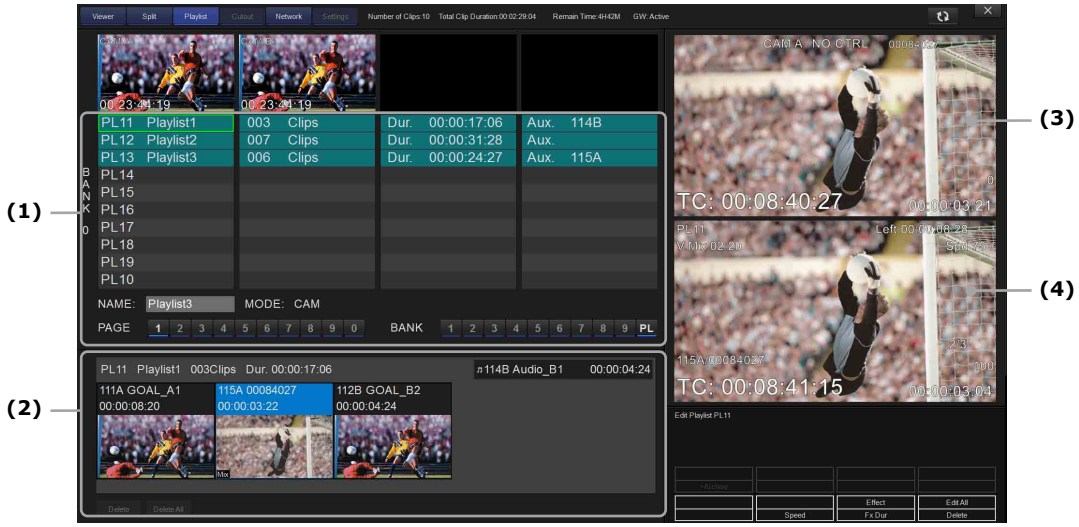
プレイリストモードには、編集用の「プレイリスト編集モード」と再生用の「プレイリストプレイアウトモード」があります。
プレイリストモードは[PLST]ボタンを押して切り換えます。
プレイリストモードを終了するときは、[RECORD]ボタンを押します。



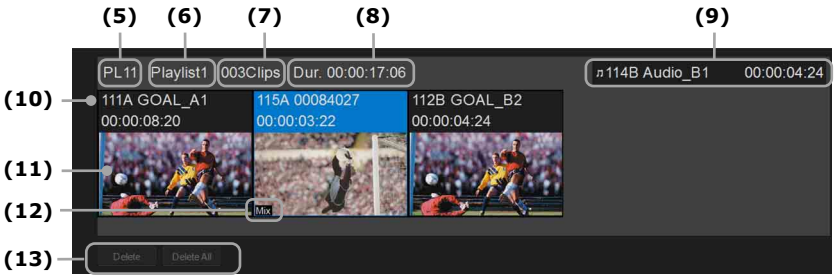
プレイリストモード

マウス／タッチパネル操作の場合は、操作画面の[Playlist]をクリック／タップしてプレイリストモードに切り換えます。プレイリストモードを終了するときは、操作画面の[Viewer]、[Split]、[Cutout]または[Network]をクリック／タップします。

プレイリストモードの操作画面



ストーリーボード



(1) クリップリスト／プレイリスト一覧

(2) ストーリーボード

ロード中のプレイリストがストーリーボード形式で表示されます。

選択中のクリップは背景が青で表示されます。

(3) PGM1 ビューアー（2PGM モード時）

素材のクリップの画像が表示されます。

(4) PGM1 ビューアー（1PGM モード時）または PGM2 ビューアー（2PGM モード時）

プレイリストの画像が表示されます。

(5) プレイリスト ID

(6) プレイリスト名

プレイリストに名前を付けている場合に表示されます。

(7) プレイリスト内のクリップ数

(8) プレイリスト内のクリップの合計時間

(9) オーディオクリップ情報エリア

オーディオクリップがプレイリストに設定されている場合、オーディオクリップのクリップ ID、クリップ名、デュレーションが表示されます。

(10) クリップ情報

クリップ ID、クリップ名、デュレーションが表示されます。

(11) サムネイル画像

(12) エフェクトマーク

クリップにエフェクトが設定されている場合に表示されます。

(13) プレイリスト編集操作ボタン

Delete：プレイリスト中の選択したクリップを削除します。

Delete All：プレイリスト中のすべてのクリップを削除します。

プレイリストのビューアー

(1) ロード中のプレイリスト ID

(2) 現在のクリップに設定されたエフェクトの種類とデュレーション

(3) 現在のクリップ ID／クリップ名

(4) 現在のタイムコード

(5) プレイリスト再生の残り時間

(6) 現在の速度設定

(7) プレイリスト中の現在のクリップ位置／プレイリスト中のクリップの総数

(8) 速度状態

(9) 現在のクリップの OUT ポイントまでのカウントダウン

プレイリスト編集モード

[PLST]ボタンを押すと、プレイリスト編集モードに切り換わります。
マウス／タッチパネル操作の場合は、操作画面の[Playlist]をクリック／タップして、プレイリスト編集モードに切り換えます。
プレイリスト編集モードの操作画面が表示され、選択中のプレイリストがロードされます。2PGM モードの場合は、PGM1 にプレイリストの先頭に登録されている素材のクリップの IN ポイント、PGM2 にプレイリスト中の選択されているクリップの IN ポイントが表示されます。1PGM モードの場合は、PGM1 にプレイリスト中の選択されているクリップの IN ポイントが表示されます。
プレイリスト編集モードでは、登録したクリップの移動や削除などの編集操作を行うことができます。
プレイリスト編集モードを終了するときは、[RECORD]ボタンを押すか、操作画面の[Viewer]、[Split]、[Cutout]または[Network]をクリック／タップします。

ご注意

空のプレイリストはロードできません。

プレビューコントロール

2PGM モードでは、制御する PGM 出力を切り換えながら、素材のクリップ（プレビュー）とプレイリストの操作を行うことができます。
[PRV CTL]ボタンを押すとプレビューコントロールが有効になり、PGM1（クリップの操作）が制御対象になります。もう一度[PRV CTL]ボタンを押すと、制御対象が PGM2（プレイリストの操作）に戻ります。

ご注意

制御できる PGM 出力が 1 つのみの場合は、プレビューコントロールを使用できません。

プレイリストプレイアウトモード

プレイリスト編集モードで[PLST]ボタンを押すと、プレイリストプレイアウトモードに切り換わります。[PLAY]ボタンを押すと、現在の位置から再生が開始されます。
プレイリストプレイアウトモードで、もう一度[PLST]ボタンを押すと、先頭のクリップの IN ポイントにキューアップされ、[PLAY]ボタンを押すと再生が開始されます。
プレイリスト編集モードに戻るときは、ジョグダイヤルを動作させるか、ソフトボタン[D]（Edit）を押します。
プレイリストプレイアウトモードを終了するときは、[RECORD]ボタンを押すか、操作画面の[Viewer]、[Split]、[Cutout]または[Network]をクリック／タップします。

プレイリストの選択

ページ番号、バンク番号 10（PL）、プレイリスト番号の順に指定して、プレイリストを選択（アクティブに）します。
デフォルトでは、「PL11」（ページ 1 のプレイリスト 1）がアクティブになっています。
操作パネルを 2 台使用しているとき、1 台目の操作パネル（Panel1）のデフォルトは「PL11」、2 台目の操作パネル（Panel2）のデフォルトは「PL21」になります。

ページ番号の選択

[PAGE]ボタン（[SHIFT]ボタン→[PRV CTL]ボタン）→ファンクションボタン[F1]～[F10]（1～10 のページ番号に対応）

バンク番号 10（PL）の選択

[SHIFT]ボタン→ファンクションボタン[F10]（バンク番号 10（PL）に対応）

プレイリスト番号の選択

ファンクションボタン[F1]～[F10]（1～10 のプレイリスト番号に対応）
プレイリストにクリップが登録されている場合は、プレイリストがアクティブになり、選択したファンクションボタン[F1]～[F10]が赤で点灯します。
プレイリストが空の場合は、確認メッセージで[ENTER]ボタンを押すとプレイリストがアクティブになり、選択したファンクションボタン[F1]～[F10]が赤で点灯します。

キーボードでのプレイリスト操作

プレイリストの選択は、キーボードで操作することもできます。

ページの選択: Alt キー ＋ 左右キー
バンク 10（PL）の選択: Alt キー ＋ 下キー
プレイリストの選択: 上下キー+ Enter キー

また、キーボードでは以下の設定が可能です。

プレイリスト名の設定: プレイリストに任意の名前を付けることができます（英数字 12 文字まで）。プレイリストを選択して NAME 欄に名前を入力し、F1 キーを押して確定します。
Shift ＋ F1 キーを押すと、カーソルが NAME 欄に移動します。

マウス／タッチパネルでのプレイリスト操作

プレイリストの選択は、マウス／タッチパネルで操作することもできます。

ページの選択: クリップリストエリア下部のページボタンでページ番号をクリック／タップ
バンク 10（PL）の選択: クリップリストエリア下部のバンクボタンで「PL」をクリック／タップ
プレイリストの選択: プレイリスト一覧表示でプレイリストをダブルクリック／ダブルタップ

プレイリストの基本操作

プレイリストの作成

プレイリストを選択→登録するクリップをロード→[ENTER]ボタン

- 空のプレイリストの場合は、クリップが登録されてプレイリストが作成されます。クリップが登録されているプレイリストの場合は、最後にクリップが追加されます。
- マウス／タッチパネル操作の場合は、プレイリストを選択後、登録するクリップを選択してストーリーボードにドラッグ &ドロップします。

ご注意

登録できるクリップ数は最大 100 個です。

プレイリストの削除

ページ番号を選択→バンク番号を選択（[SHIFT]ボタン→ファンクションボタン[F10]）→
[CLEAR]ボタン→プレイリスト番号を選択→確認メッセージで[ENTER]ボタン

- 削除を中止する場合は、確認メッセージで[MENU]を押します。
- プレイリストとプレイリスト内のクリップが削除されます。
- アクティブなプレイリストは削除できません。
- キーボード操作の場合は、プレイリストを選択して Ctrl + Delete キーを押し、確認メッセージで Enter キー（中止する場合は Esc キー）を押します。

プレイリストのコピー

コピーするプレイリストを選択→空のプレイリスト番号を選択→確認メッセージでソフトボタン[A]（Copy）→
[ENTER]ボタン

- コピーを中止する場合は、確認メッセージで[MENU]を押します。
- キーボード操作の場合は、コピーするプレイリストを選択して Ctrl + C キーを押し、空のプレイリスト番号を選択して Ctrl + V キーを押します。
- マウス／タッチパネル操作の場合は、コピーするクリップを選択し、空のプレイリスト番号にドラッグ &ドロップします。

プレイリストのアーカイブ

メディアゲートウェイと連携してプレイリストを保管します。

プレイリスト編集モード→[MENU]ボタン→ソフトボタン[A]（>Archive）

- プレイリストとプレイリスト内のすべてのクリップがアーカイブされます。
- プレイリストがアーカイブに指定されているときや、アーカイブ実行中は、プレイリスト ID の背景が緑になり、プレイリスト ID の下にプログレスバーが表示されます。
- キーボード操作の場合は、プレイリストを選択して Alt+Z キーを押します。

ご注意

- アーカイブが完了したプレイリストのプレイリスト ID の背景は、PWA-PRC1 を再起動すると青に戻ります。
- プレイリストのアーカイブを実行する前に、メディアゲートウェイがインストールされている PC 側での共有フォルダーの設定、PWA-PRC1 がインストールされている PC 側での資格情報の設定を行う必要があります。設定方法については、インストレーションガイドを参照してください。
- プロフェッショナルディスク、SxS メモリーカード、Avid サーバーへのプレイリストのアーカイブはできません。

プレイリスト編集・再生の基本操作

プレイリスト内のクリップ選択（ブラウズ操作）

プレイリスト編集モード→[BROWSE]ボタン→ジョグダイヤルでブラウズ→目的のクリップを選択

- ブラウズ操作を終了する場合は、もう一度[BROWSE]ボタンを押します。
- マウス／タッチパネル操作の場合は、ストーリーボードで目的のクリップをクリック／タップして選択します。

プレイリストへのクリップ挿入

プレイリスト編集モード→挿入位置のクリップを選択→PGM1 に素材のクリップをロード→
ソフトボタン[A]（Insert）または[INSERT]ボタン（[SHIFT]ボタン→[BROWSE]ボタン）

- 選択した挿入位置の前にクリップが追加されます。
- マウス／タッチパネル操作の場合は、クリップリストで素材のクリップを選択し、ストーリーボードの挿入位置にドラッグ &ドロップします。
- 1PGM モードの場合は、マウス／タッチパネル操作でクリップを挿入します。

プレイリスト内のクリップ削除

プレイリスト編集モード→クリップを選択→ソフトボタン[D]（Delete）

- マウス／タッチパネル操作の場合は、ストーリーボードでクリップを選択して[Delete]をクリック／タップするか、クリップをストーリーボードのエリア外にドラッグ &ドロップします。すべてのクリップを削除する場合は、[Delete All]をクリック／タップします。

プレイリスト内のクリップ移動

プレイリスト編集モード→移動するクリップを選択→ソフトボタン[D]（Delete）→挿入位置のクリップを選択→
ソフトボタン[A]（Insert）または[INSERT]ボタン（[SHIFT]ボタン→[BROWSE]ボタン）

- 選択した挿入位置の前にクリップが移動します。
- マウス／タッチパネル操作の場合は、ストーリーボードでクリップを選択し、挿入位置にドラッグ &ドロップします。
- 1PGM モードの場合は、マウス／タッチパネル操作でクリップを移動します。

プレイリスト内のクリップの IN/OUT ポイント変更

プレイリスト編集モード→クリップを選択→ IN/OUT ポイントを設定

ガードバンドを含むクリップの先頭／末尾に IN/OUT ポイントを設定する場合：

[CLEAR]ボタン→[IN]ボタンまたは[OUT]ボタン

クリップの任意の位置に IN/OUT ポイントを設定する場合：

設定したい位置で[IN]ボタンまたは[OUT]ボタン

- IN/OUT ポイントの変更は、選択中のプレイリスト内のクリップのみに反映されます。

オーディオクリップの登録

アクティブなプレイリストにオーディオクリップを登録することができます。

ビューアーモード、スプリットモードでオーディオクリップを選択→[MENU]ボタン→[SHIFT]ボタン→
ソフトボタン[B]（Aux Clip）

- 登録をクリアするには、[MENU]ボタン→[CLEAR]ボタン→[SHIFT]ボタン→ソフトボタン[B]（Aux Clip）でクリアするクリップを選択します。
- 2PGM モードのときにプレイリスト編集モードでアクティブなプレイリストにオーディオクリップを登録するには、[PRV CTL]ボタン→オーディオクリップを選択→[MENU]ボタン→ソフトボタン[B]（Aux Clip）の操作を行います。
  登録をクリアするには、[PRV CTL]ボタンをオンにして、[MENU]ボタン→[CLEAR]ボタン→[SHIFT]ボタン→ソフトボタン[B]（Aux Clip）でクリアするクリップを選択します。
- マウス／タッチパネル操作の場合は、プレイリスト編集モードでオーディオクリップを選択し、オーディオクリップエリアにドラッグ &ドロップします。
  登録をクリアするには、オーディオクリップをオーディオクリップエリア外へドラッグ &ドロップします。
- 1PGM モードの場合は、マウス／タッチパネル操作でオーディオクリップの登録およびクリアを行います。

プレイリストの再生

プレイリスト編集モードで現在の位置から再生するには、[PLAY]ボタンを押します。
プレイリスト内のクリップは、各クリップに設定された速度で再生されます。また、フェーダーレバーで再生速度をコントロールすることもできます。

- キーボード操作の場合は、Alt + P キーを押して再生を開始します。
- 再生中にソフトボタン[B]（Next）を押すと、現在再生中のクリップの再生を中止して、次のクリップを再生します。
- プレイリストプレイアウトモードでの再生操作については、「プレイリストプレイアウトモード」（36 ページ）を参照してください。

ソフトボタンメニューの項目

プレイリストの選択操作では、以下の項目が表示されます。

第 1 メニュー

項目	内容
Copy Playlist	プレイリストのコピーを実行する。
New Playlist	新規のプレイリストをアクティブにする。

プレイリスト編集モードでは、以下の項目が表示されます。

第 1 メニュー

項目	内容
Insert	クリップを挿入する。
Delete	クリップを削除する。
Speed	選択したクリップの再生速度（0%～100%）を設定する。 • ソフトボタン[B]（Speed）を押し、フェーダーレバーで速度を選択してから、もう一度ソフトボタン[B]を押します。
Fx Dur	選択したクリップにトランジションエフェクトのデュレーション（0:00～3:00（秒：フレーム））を設定する。 • ソフトボタン[C]（Fx Dur）を押し、フェーダーレバーでデュレーションを選択してから、もう一度ソフトボタン[C]を押します。
Effect	選択したクリップにトランジションエフェクト（Mix または Cut）を設定する。 • [SHIFT]ボタン→ソフトボタン[C]（Effect）を押し、フェーダーレバーでエフェクトを選択してから、もう一度[SHIFT]ボタン→ソフトボタン[C]を押します。 • エフェクトは HD ファーマットの場合のみ設定可能です。
Edit All	プレイリスト内のすべてのクリップを設定対象にする。

第 2 メニュー

項目	内容
>Archive	プレイリストをアーカイブする。
Aux Clip	オーディオクリップを登録する。

プレイリストプレイアウトモードでは、以下の項目が表示されます。

第 1 メニュー

項目	内容
Edit	プレイリスト編集モードに切り換える。
Next	次のクリップを再生する。

カットアウト編集機能

4K 撮影された素材から HD の画像を切り出して利用することができます。
切り出し位置や範囲を指定してカットアウトデータをクリップに登録すると、切り出した範囲が HD 画像として再生されます。
カットアウトデータ付きのクリップは、アーカイブやプレイリストに登録することができます。

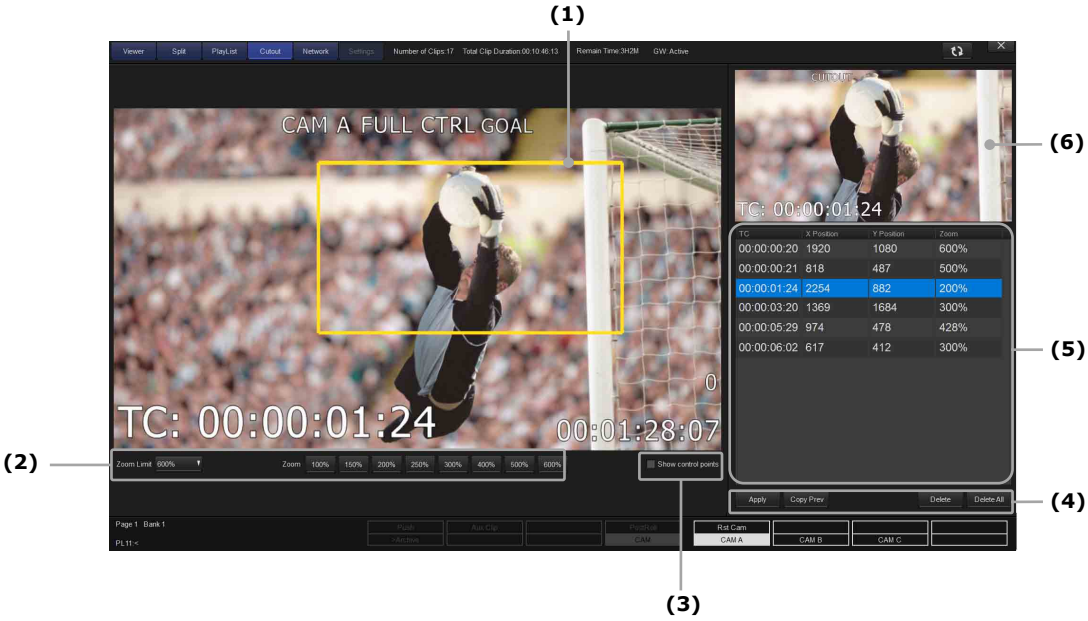
ご注意

- サーバーが HD CutOut モードまたは High Frame Rate with 2 Boards + HD Cut Out モードに設定されている場合のみ操作可能です。設定方法については、PWS-4400 のオペレーションマニュアルを参照してください。また、サーバーとの接続方法については、ソニーの営業担当者またはサービス担当者にお問い合わせください。
- カットアウト編集の操作には、マウス／タッチパネルが必要です。
- サーバーで FS Format を実行したあとは、古いカットアウトデータを削除する必要があります。セッティング画面で［ClearAll Playlist/Cutout Data］を実行してください。

カットアウトモード

カットアウトモードでは、主にマウス／タッチパネルを使用して操作します。
操作画面で［Cutout］をクリック／タップすると、カットアウトモードに切り換わり、カットアウトモードの操作画面が表示されます。
カットアウトモードを終了するときは、操作画面の［Viewer］、［Split］、［Playlist］または［Network］をクリック／タップするか、操作パネルの［RECORD］ボタンを押します。

カットアウトモードの操作画面



(1) カットアウトフレーム設定エリア

切り出し範囲を指定するフレーム付きの素材画像が表示されます。

(2) ズーム設定

Zoom Limit：ズーム倍率の上限値を指定します（100%～600%）。

Zoom：設定したいズーム倍率のボタンをクリック／タップします。

(3) Show control points チェックボックス

チェックマークを付けて有効にすると、カットアウトデータの軌跡がカットアウトフレーム設定エリアに表示されます。

(4) カットアウト編集操作ボタン

Apply：設定したカットアウトデータと補間データをクリップに登録します。

Copy Prev：現在の位置に直前のカットアウトデータを設定します。

Delete：選択したカットアウトデータを削除します。

Delete All：すべてのカットアウトデータを削除します。

(5) キーフレームテーブル

キーフレームとしてクリップに登録されたカットアウトデータが一覧表示されます。

カットアウトデータのタイムコード、中心点の XY 座標、ズーム倍率を確認できます。

(6) カットアウト結果表示エリア

切り出した結果の画像が表示されます。

サーバーが HD Cut Out モードまたは High Frame Rate with 2 Boards + HD Cut Out モードの場合、スプリットモードの操作画面では以下の画像が表示されます。

レコードトレインの操作時：選択中のカメラの入力画像

クリップの操作時：カットアウトデータの画像

カットアウトの基本操作

カットアウトデータの作成

1. クリップをロードする。
2. 操作画面で[Cutout]をクリック／タップする。
   カットアウトモードに切り換わり、カットアウトモードの操作画面が表示されます。
3. クリップを再生する。
4. カットアウトフレーム設定エリアで、切り出し範囲の中心となる点をクリック／タップする。
5. マウスのホイールまたはタッチパネルでのピンチイン／ピンチアウトでフレームのサイズを調整し、切り出し範囲を指定する。
   カットアウト結果表示エリアで、切り出した結果を確認しながら指定することができます。
6. 手順 4 と 5 を繰り返し、必要なカットアウトデータを設定する。
7. キーフレームテーブルの[Apply]をクリック／タップする。
   カットアウトデータをもとに作成された補間データも含めて、設定したすべてのカットアウトデータがクリップに登録されます。
   カットアウトモードを終了するときは、操作画面の[Viewer]、[Split]、[Playlist]または[Network]をクリック／タップするか、操作パネルの[RECORD]ボタンを押します。

カットアウトデータの編集

キーフレームテーブルで変更するカットアウトデータをダブルクリック／ダブルタップして選択し、カットアウトフレーム設定エリアで切り出し範囲の中心点やフレームサイズを変更します。

カットアウトデータの削除

キーフレームテーブルで削除するカットアウトデータをクリック／タップして選択し、[Delete]をクリック／タップします。すべてのカットアウトデータを削除する場合は、[Delete All]をクリック／タップします。

カットアウトデータの再生

[PLAY]ボタンまたはキーボードの Alt + P キーを押します。
設定したカットアウトデータをもとに、データ間を補間しながらクリップが再生されます。

カットアウトデータ付きクリップのアーカイブ

クリップにカットアウトデータが設定されている場合、カットアウトデータも一緒にアーカーブされます。
アーカイブ操作については「クリップのアーカイブ」（30 ページ）を参照してください。

カットアウトデータ付きクリップのプレイリスト登録

カットアウトデータを設定したクリップをプレイリストに登録することができます。
プレイリストの登録については「プレイリストの基本操作」（38 ページ）を参照してください。

ご注意

- カットアウトデータ付きクリップのアーカイブおよびプレイリスト登録は、サーバーが HD CutOut モードまたは High Frame Rate with 2 Boards + HD Cut Out モードに設定されている場合のみ可能です。
- カットアウトモードでは、プレイリスト上のクリップへの Speed 設定は行えません。

設定

セッティング画面

セッティング画面では、PWA-PRC1 や PWSK-4403 の設定、サーバーの設定、レコードトレインの管理と制御などを行います。

セッティング画面を表示する

スプリットモードまたはビューアーモードのときに、操作パネルの[SHIFT]ボタンを押してからソフトボタン[D]（Settings）を押します。
キーボード操作では、Shift + F2 キーを押します。
マウス／タッチパネル操作では、操作画面の[Settings]ボタンをクリック／タップします。
各項目については、「設定項目」（47 ページ）を参照してください。

操作画面に戻る

[SHIFT]ボタンを押してからソフトボタン[D]（Exit Settings）を押します。
キーボード操作では、Shift + F2 キーを押します。
マウス／タッチパネル操作では、操作画面の[Viewer]または[Split]をクリック／タップします。

PWA-PRC1 を終了する

[SHIFT]ボタンを押してからソフトボタン[A]（Exit App）を押すと、確認メッセージが表示されます。
レコードトレインの記録を終了して全ポートをクローズする場合は[OK]ボタン、記録を継続する場合は[Cancel]ボタンをクリック／タップします。
マウス／タッチパネル操作でアプリケーションウィンドウ右上の「 」ボタンをクリック／タップして、PWA-PRC1 を終了することもできます。

ご注意

- ローカルサーバーの IP アドレスの設定を変更した場合は、PWA-PRC1 を再起動してください。
- 2 台の PWSK-4403 を使用している場合、メインディスプレイとの連携設定がオンの操作パネルからのみセッティング画面で設定操作を行うことができます。セッティング画面表示中、メインディスプレイとの連携設定がオフの操作パネルでのキー操作は無効になります。

設定項目

カテゴリー	項目	内容と設定値	初期設定
Record trains	Loop REC	ループ記録モードの有効／無効の設定 有効（チェックマーク）、無効	無効
	Default clip duration	IN ポイント、OUT ポイントの一方だけを指定した場合のクリップ自動作成のデュレーション 有効（チェックマーク、1～12 秒に設定可能）、無効（自動作成しない）	無効
	Record trains OUTs	レコードトレインの OUT ポイントに達したときの動作 Play through：再生を続ける Freeze：再生を停止する	Play through
	Mark cue points	キューアップポイント設定時に使用されるタイムコード Live：記録中のレコードトレインのタイムコードを使用する Playback：クリップ再生中のチャンネルのタイムコードを使用する	Playback
Clips	Auto name clips	クリップ作成時に自動的に設定される名前 Disable：無効 TC IN：IN ポイントのタイムコードを割り当てる	Disable
	Clip post-roll	[PostRoll]有効時の OUT ポイントに達したあとの再生時間 0～30 秒	2

カテゴリー	項目	内容と設定値	初期設定
Controller	Fast jog	ジョグダイヤルの高速モードの速度増加量 1～20 倍	20
	PGM speed/var Max	[PgmSpd]有効時の固定速度、または [VarMax]有効時の最大速度 1～100%	50
	Lever engage mode	フェーダーレバーの動作モード Direct：レバーの位置に対応した再生速度（1～100%）で動作する Current speed：現在の再生速度に対応するレバーの位置に移動した時点から、レバーが有効になる	Direct
	Second lever range	フェーダーレバーのセカンドモードの速度範囲 －100%～＋100%、0%～＋200%、－200%～＋200%、0%～＋400%、－400%～＋400%	－100%～＋100%
	Recall clip toggle	ファンクションボタン数回押しによるカメラアングルの切り換え 有効（チェックマーク）、無効	有効
	Record key	[RECORD]ボタンの動作 Live：記録が停止されている場合は、開始せずに最後の記録画像に切り換わる Start REC+Live：記録を開始して、ライブモードに切り換わる	Start REC+Live
	Play key	HFR のクリップに対する[PLAY]ボタンの動作 Play：通常の[PLAY]ボタンの速度で再生を開始する Feed play：クリップ記録時のフレームレートに従った速度で再生を開始する	Play
	First lever mode for HFR	HFR のクリップに対するフェーダーレバーのファーストモードの動作モード Type-A：スローランプ位置固定 Type-B：スロー速度位置固定	Type-A

カテゴリー	項目	内容と設定値	初期設定
Local 4K server	Server	通常使用するローカルサーバーの IP アドレスを入力する	（未設定）
	Server transfer IP	転送用の IP アドレスを入力する **ご注意** IP 設定の変更や削除を行った場合は、[Media Gateway]の[Set]ボタンをクリック／タップしてください。	（未設定）
	Recording port	サーバーの各ポートについて入力として使用する場合に記録を行うかどうかを設定する 記録する（チェックマーク）、記録しない CAM A は記録する（チェックマーク）固定 [Apply]ボタン： Recording port の設定変更を有効にする。 [Apply]ボタンをクリック/タップ後、サーバーはいったん全記録を停止し、記録設定の CAM のみ記録を開始する。 起動時は記録設定の CAM のみ記録を開始する。	すべて記録する
Network 4K server (s)	－	ネットワーク上のサーバー情報を登録する（最大 10 サーバー） Name：サーバー名 APL IP：制御で使用する IP アドレス Transfer IP：転送用の IP アドレス Push receive page：プッシュ機能で転送されたクリップの受信ページ（0～9、複数選択可）	（未設定）
	Push machine	Network 4K server (s)で登録した 4K サーバーから、プッシュ機能の転送先サーバーを選択する	（未設定）
Media Gateway	IP address	メディアゲートウェイの IP アドレスを登録する [Set]ボタン： メディアゲートウェイに接続されているドライブ情報を取得する **ご注意** 次の場合、[Set]ボタンをクリック／タップしてドライブ情報を再取得してください。 ・PWA-PRC1 操作中にメディアゲートウェイを再起動した ・アーカイブ先のドライブの接続に変更があった ・メディアを入れ換えた ・Server transfer IP の変更および削除を行った。	（未設定）
	Drive	アーカイブ先のドライブを一覧から選択する	（未設定）
	Push machine	メディアゲートウェイに接続されているサーバーからプッシュ機能の転送先を選択する	
Push target	－	プッシュ機能の転送先サーバーを選択する 4K server：Push machine で選択された 4K サーバーを選択 Other server：メディアゲートウェイに接続されているサーバーを選択	

カテゴリー	項目	内容と設定値	操作パネルからの操作
Operation	Clear all clips	サーバー上のクリップ、プレイリスト、プレイリスト設定情報、カットアウトデータをすべて削除する	ソフトボタン[A]（Clear）
	Clear all playlist/cutout data	サーバー上のプレイリスト設定情報とカットアウトデータのみを削除する	—
	Record (Start/Stop)	レコードトレインの記録を開始（Start）または停止（Stop）する	ソフトボタン[B]（Start または Stop）
	Split view	スプリットモードの操作画面を 4 アングルモード（4 Angles）または 6 アングルモード（6 Angles）に設定する デフォルト：4 Angles	—
GUI and panel links	Panel1/2	該当する操作パネルが接続されている場合に、その行が有効になる	—
	Main	操作パネルとメインディスプレイの連携を設定する 連携オン（チェックマーク）： 次の操作が連携して動作する ・ページ／バンク指定、PGM へのクリップ／プレイリストのロード、プレイリストモードへの切り換え、プレイリストモードからのモード切り換え、セッティング画面への切り換え ・操作パネルでのネットワークコピーモードへの切り換え 連携オフ： ページ／バンク指定、モード切り換え操作が連携せずに独立して動作する ・メインディスプレイの操作画面からのクリップ／プレイリストのロードは無効となる ・セッティング画面への切り換えはメインディスプレイの操作画面からのみ可能となる	—
	Sub 1/2	操作パネルに割り当てるサブモニターを設定する 接続あり（チェックマーク） 接続なし	—
	—	[Update]ボタン： 接続している操作パネルとサブモニターの設定更新と識別表示を行う ・Panel1 として識別された操作パネルの[F1]が 3 秒間緑点灯 ・Panel2 として識別された操作パネルの[F2]が 3 秒間緑点灯 ・Sub1 として識別されたサブモニターに "Submonitor 1"を 3 秒間表示 ・Sub2 として識別されたサブモニターに "Submonitor 2"を 3 秒間表示	—

項目	内容
About	PWA-PRC1 のバージョンを表示する

ご注意

無効な設定値を入力した場合の動作は保証できません。有効な値を設定してください。

付録

商標について

Avid は、米国およびその他の国における、Avid Technology, Inc およびその子会社、またその他の会社の、商標または登録商標です。

本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中では、®、TM マークは明記していません。

LGPL 適用ソフトウェアの入手について

本製品は、LGPL 適用ソフトウェアとして Qt を使用しており、お客様には、ソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。ソースコードの入手方法については、ソニーの営業担当者またはサービス担当者にお問い合わせください。なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

このマニュアルに記載されている事柄の著作権は当社にあり、説明内容は機器購入者の使用を目的としています。
従って、当社の許可なしに無断で複写したり、説明内容（操作、保守等）と異なる目的で本マニュアルを使用することを禁止します。